

第2章 実践編

ここからの実践例は、
実際に県内の学校で実践された内容です。
児童生徒の実態に応じて、
各学校での指導の参考としてください。

(1) 本時の展開

●学習活動・内容	○教師の支援 ○評価
<p>1. 本時の導入 喫煙の害について知っていることを話し合う。</p> <p>2. 課題の把握 喫煙の心身への影響</p> <p style="background-color: yellow;">喫煙には、どんな害があるのだろうか？</p> <p>3. 喫煙の害とがんについてゲストティーチャーから話を聞く。</p> <p>喫煙の害とがんについて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たばこの煙に含まれている有害物質 ・喫煙によってすぐに現れる影響と長い間続けると現れる影響 ・がんの原因・症状・予防法 ・ニコチン依存症の仕組み <p>4. 健康な生活をめざしていくために、どのようにして「喫煙の害」から自分の身を守っていくか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族にたばこを吸う人がいた場合、どのような約束や環境を作ればよいか、学習したことをもとにして、グループで話し合う。 <p>5. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートに感想を記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・たばこの煙には有害な物質が含まれていて、健康に影響を及ぼす。周りの人々の健康にも影響を及ぼす。 ・喫煙には依存性があるため、できるだけ影響を受けないような環境づくりが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ○喫煙の心身への影響について学習することを告げ、喫煙についてのイメージを発表させる。 ○事前アンケートで出された疑問をいくつか紹介して、気を付けて見てほしいところや聞いてほしいところを焦点化する。 ○喫煙開始時期が早いほど喫煙期間が長くなり合計喫煙本数も多くなること、発育期の体は悪影響を受けやすいことにより、危険がより大きくなることを説明する。(若いときから吸い始めるほど依存が強くなり、やめにくい)。 ○副流煙に有害物質が多く含まれていること(タール、ニコチン、一酸化炭素など有害物質の名称は中学校の学習内容であることに留意する)、喫煙は周囲の人にも害があることを説明する。(目、鼻への刺激、妊産婦や子への影響も含む) <ul style="list-style-type: none"> ・自分とゲームとの関わり方を振り返らせながら、依存症について理解できるようにする。 ・喫煙によってPM2.5の数値が上がることから喫煙が他人に与える影響について理解できるようにする。 ○喫煙者の7割はニコチン依存症でやめようと思ってもやめられない病気であることを押さえる。(依存・有害) ○できるだけたくさんの意見を出すよう助言する。 ○依存の仕組みを想起し、たばこの煙を減らす環境や約束を考えることを伝える。 ○学習したことをもとに、未来の自分の健康をよりよいものにしていくための生活の仕方を考えている。【話し合い・発表】 ○数名の児童に感想を発表させ、多様な考えがあることに気づくことができるようにする。 ○受動喫煙を防止する目的について理解している。(知識・技能)

6年保健・病気の予防 「喫煙には、どんな害があるのだろうか？」

6年 組 名前 _____

小学校

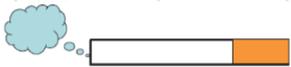
健康な生活をめざすために、どのようにして「喫煙の害」から自分の身を守っていったらよいだろうか。今日学んだことを生かして、考えてみよう。

場 面	あなたならどうする
家の中で、家族の誰かがたばこを吸っていたら	
車の中で、誰かがたばこを吸っていたら	
レストランに、入るとしたら	
たばこを吸ってみたいかと誘われたら	

今日の学習のまとめをしよう。

- ①たばこの煙には、()がふくまれている、健康に影響をおよぼす。
- ②周りの人々も、たばこの煙を吸わされてしまうことを()といいます。周りの人にも害を与えます。
- ③たばこには、()があり、やめるのが難しくなります。できるだけ喫煙の害を受けないような環境づくりや約束づくりが大切です。

<small>じゅうどうきつえん</small> 受動喫煙	<small>い ぞんせい</small> 依存性	<small>ゆうがいぶっしつ</small> 有害物質
---	-------------------------------------	--



今日の学習の感想を書きましょう。